

ご利用にあたってのご注意

この資料は、国際ロータリーが作成した「ホストファミリーの手引き（749-JA—2009年7月版）」です。

ホストファミリーに応募しようとしている方に、ホストファミリーの役割や心構えを理解していただくための参考資料として掲載しています。

発行から年月が経過しているため、現在のロータリー青少年交換プログラムの運用、青少年保護に関する手続、ホストファミリーの審査・研修、旅行・外泊、保険、SNS利用等については、国際ロータリーおよび国際ロータリー第2650地区青少年交換委員会の最新の規則・方針に従ってください。

実際の受入れにあたっては、所属クラブまたは第2650地区青少年交換委員会の説明・指示をご確認ください。

なお、本資料は国際ロータリーの公式改訂版ではなく、第2650地区青少年交換委員会が参考資料として掲載するものです。

国際ロータリー第2650地区青少年交換委員会



ホストファミリーの手引き



ROTARY INTERNATIONAL



用語の説明

派遣学生

派遣地区の支援の下で、海外に留学する交換学生を指す言葉。

来訪学生

海外から受入地区にやって来る交換学生を指す言葉。

派遣地区

学生の海外交換留学を支援する、学生の母国にあるロータリー地区。

受入地区

海外から交換留学生を受け入れるロータリー地区。ホストファミリーは、受入地区のロータリアンと密接に連絡を取り合う。

受入クラブ（世話クラブ）

交換留学中に学生を支援するロータリー・クラブ。

受入側カウンセラー

交換留学生にとってクラブの主な窓口となり、留学生、クラブ、ホストファミリー、地域社会の間の連絡役となるために任命された、受入クラブの会員。カウンセラーは学生のホストファミリーの一員であってはならない。

青少年交換役員

地区またはクラブの青少年交換委員会の委員（長）として任命または選出されたロータリアン。地区ガバナーにより選ばれる地区青少年交換委員長は、地区内全域で行われている青少年交換の関連活動を監督する。

目次

はじめに	3
ロータリーと青少年交換プログラム	4
ホストファミリーの条件	6
青少年交換学生	8
受入地区と派遣地区の役割	14
青少年保護	16
ホストファミリーへの申請方法	16

本手引きは、青少年交換プログラムについて、また、ホストファミリーに対する期待事項と責務全般についての一般的な情報を収めています。詳しい情報は、地元のロータリアンが実施するオリエンテーションで説明されます。青少年交換プログラムでホストファミリーが果たす重要な役割について十分に理解しておくため、オリエンテーションにはすべて出席するよう推奨されています。

はじめに

ホストファミリーは、文化交流における極めて重要な部分であり、ホストファミリーを通じて留学生は滞在中にさまざまな活動に触れることになります。ホストファミリーは、留学生が異国の価値観を学ぶ上で大きな役割を果たす一方、留学生から新しい文化を学ぶ機会に恵まれます。以下に掲載された情報は、学生に有意義な交換留学をしてもらうために学生を自宅に受け入れる上で、ホストファミリーが直面するチャレンジについて説明しており、留学生受け入れの準備に役立つものです。

留学生の受け入れは、青少年の希望と夢を分かち合い、海外の学生やその家族と生涯にわたる友情を築くことのできる、類まれな経験です。若き学生が新しい文化と環境に慣れる手助けをするのは簡単なことではありませんが、その恩恵もひととき大きく、やりがいのある仕事でもあります。

青少年交換プログラムのホストファミリーの家族形態や人数はさまざまです。ロータリアンの場合とそうでない場合があり、また幼い子供や年上の子供がいたり、子供がいなかったりといった違いもあります。

ロータリーと青少年交換プログラム



ロータリーとは何か

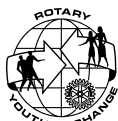
ロータリー・クラブとは、地域社会の人々の生活の質を高めるために活動し、あらゆる職業における高い道徳的水準を奨励し、親善や平和を築くために助力している奉仕組織です。世界には、33,000以上のロータリー・クラブがあります。「ロータリアン」と呼ばれるクラブ会員は、事業、専門職務、地域社会のリーダーであり、時間や能力を捧げて奉仕活動に当たっています。その奉仕活動の1つが、ロータリー青少年交換です。

地区とは、管理を目的としてロータリー・クラブを一群にまとめた単位です。広い地域で交換を行うために、複数の地区が集まり、「多地区合同」として交換を行っている場合もあります。

国際ロータリー (RI) は、全世界のロータリー・クラブの連合体です。青少年交換の実施をクラブと地区に奨励し、出版物を発行したり、各ロータリー地区のサポートを行っています。地区は、RIから独立して青少年交換プログラムを運営しますが、学生の安全と福利のために、決められた方針を守らなければなりません。

世界中でボランティアのみによって運営されている青少年交換は、非常にユニークなプログラムです。各地区は、ほかの国の地区と独自に交換を手配します。地元のクラブや地区がホストファミリーの審査と面接、選考を行い、また、ホストファミリーを支援します。ホストファミリーは、地元のロータリー・クラブや地区の会員と緊密に連絡を保つ必要があります。





青少年交換とは何か

毎年、100以上の国や地域から、約8千人の留学生が青少年交換プログラムを通じて交換留学に参加しています。青少年交換には次の3種類があります。

- **長期交換**：この交換は、年齢15～19歳の学生が参加する、通常10～12カ月間の滞在です。留学中には2つ以上のホストファミリーの家に滞在して、学校に通学しなければなりません。長期交換は、学年度の直前と直後の休暇期間の一部またはすべてを含めて、滞在期間を延長することができます。
- **短期交換**：この交換は、年齢15～19歳の学生が参加する、通常数日間から数週間の滞在です。学校の休業中に行われることが多く、通常、学校への通学はありません。短期交換は、ロータリー地区が運営する交換プログラムとして、2つの家庭の間で学生を派遣し合うのが一般的ですが、各国から学生を集めて国際青少年キャンプやツアーを行うこともあります。
- **新世代交換**：これは、18歳から25歳までの若者を対象に、3週間から3カ月間の滞在を行う短期の特別交換プログラムです。このプログラムには、職業研修に似た内容が含まれる場合もあります。

ホストファミリーの条件

ホストファミリーには何が期待されているか

留学生の受け入れは、家族全員にとって非常に貴重な経験となる一方で、大きな責任を伴う役目でもあります。ホストファミリーは、以下の期待事項に沿うよう求められています。

留学生の来訪前

- クラブや地区が実施する研修会またはオリエンテーションに参加する。
- 留学生との連絡を始める。
- 学生が守るべきプログラムのルールを理解しておく。
- 緊急の場合に、青少年交換や社会奉仕に携わる主なロータリアンと連絡する方法を確認しておく。

交換留学中

- 学生と家族の間で信頼と友情を育むことができ、学生が守られ、歓迎されていると感じられるような環境を提供する。
- 学生を支援し、家族のほかの人たちと同じ権利や義務を与えることによって、家族の一員であると感じられるようにする。
- 学生が、家庭での慣習について学び、適応できるように助ける。
- 学生に部屋と食事を提供する。学生には本人専用のベッドが必要となる。部屋を共有しなければならない場合、同性で年齢の近い子供と部屋を共有するようにする。
- 学生が一人で勉強できる部屋を提供する。
- 学生の誕生日やその他の特別な記念日を祝う。
- 家族、友人、その他支援してくれる人々への連絡方法を学生に教える。

- 万一の緊急事態に備えて、学生の旅行保険の使用方法について知っておく。
- 深刻なホームシック、ホストファミリーとの生活や学校への適応困難、病気など、学生に関連する懸念や問題があれば、受入側カウンセラーに伝える。
- 受入クラブとの緊密な連絡を保ち、問題や懸念があるときは迅速に対応する。
- 監督または保護者としての責務を果たし、学生の健康と安全を維持する。
- 学生を隣人、友人、地域団体に紹介し、学生が地域社会の生活に参加できるよう支援する。
- 地元の文化について学生に教え、また学生の文化についても学ぶ。
- 学校、家族、地域での活動、友人づくりに関して学生に助言を与える。

学生はどのくらいの期間、ホストファミリーと生活するか

長期交換の留学生のほとんどは、交換中、2つか3つのホストファミリーの家庭に滞在します。従って、学生が1つのホストファミリーと生活するのは3～6カ月間となります。

ホストファミリーへの報酬はあるか

行われません。ただし国によっては、課税控除がある場合もあります。課税控除の有無については自国の制度を確認してください。

交換留学生をこれまでに一度も受け入れたことがない場合、ある程度の不安はつきものです。ホストファミリーを務めることを決める前に、ホストファミリーの役割についてよく理解しておく必要があります。ホストファミリーの義務を果たせない、あるいは疑問が残っているなど、不安が深刻な場合には、地元のロータリアンに連絡をしてください。

青少年交換学生

交換留学生が従うべき規則にはどのようなものがあるか

留学生には以下が求められています。

- ホストファミリーの規則について学び、それに従う。
- 留学先の法律や慣習に従う。
- いかなる種類の車両も一切運転しない。
- 国際ロータリーならびに地区とクラブが定めた規則に従う。

地区とクラブの規則については、オリエンテーションで説明されます。ホストファミリーは、以下に関連する規則や期待事項について、早めに決めておくようにしましょう。

- 食事の時間、就寝時間、勉強時間など、家庭の日課
- 門限
- 家の鍵
- 緊急時にどうするか（緊急時の電話番号を含む）
- 地元の交通手段
- 食事やおやつ
- 宗教に関連する習慣
- ホストファミリー宅に友達を招く場合
- 電話やコンピューターの使用





留学生が規則を守らなかった場合はどうするか

家庭内では、自分の子供に対して取るのと同じ態度を交換学生に対しても取るべきです。規則と、それを守らなかった場合の処置について、あらかじめ学生に明確に説明しておきましょう。問題が起きたり、学生が規則を破った場合には、そのような重大な問題についてクラブあるいは地区の青少年交換役員に連絡を取るのがホストファミリーの責務です。極端なケースでは、受入クラブと地区が、学生を早期帰国させることが最善であると判断する場合もあります。学生の早期帰国に関する最終的な決定は、受入地区のガバナーが、地区青少年交換委員会との相談の上で行います。

留学生が通う学校に関するホストファミリーの役割は何か

すべての長期交換留学生に、学校への通学が義務づけられています。ホストファミリーには、留学生が新しい学校に順応できるように努めることが求められています。学生の母国の教育制度と留学先の教育制度が大きく異なる場合には、地元の学校の手続きについて学生を指導する必要があるかもしれません。このため、一番初めのホストファミリーは、学生とともに学校のカウンセラーと面談し、校内を見学したり、学生が授業の時間割をよく理解していることを確認するようにしましょう。

また、学生が通学路、交通手段、昼食について知っていることを確認してください。

留学生在直面するチャレンジ

- ホームシック
- 言語の問題
- 新しい友人づくり
- 文化特有の社会行動の理解
- ホストファミリーとの問題
- 家庭の規則と期待事項の違い
- さまざまな感情面での問題

留学生在困難に直面していることを示すサイン

- 受入国の言語を学んでいる様子がない。
- 新しい友達や積極的に参加している活動について話すことがない。
- 一人でいることが極端に多い。
- 母国の家族に頻繁に電話をしたり、インターネットに非常に長い時間を費やしている。
- 短気になったり、怒りを爆発させたりする。
- 心配気味になったり、落ち込んでいる。
- 学業成績が思わしくない。

ホストファミリーにできること

- 気付いた兆候について学生と話す。
- 打ち解けた雰囲気に対話し、自由に何でも話してもらう。
- 学生が打ち込むことのできる活動を一緒に探す。
- 言語の習得を手伝ったり、その他の言語支援を紹介する。
- ロータリアンの受入側カウンセラーと話をしよう学生に勧める。
- 病気、ホストファミリーや学校への深刻な適応困難、家族に関する心配、深刻なホームシックなど、学生が大きな問題に直面している場合には、受入側カウンセラーに通知する。

留学生はどのように選ばれるか

柔軟性と広い心を持ち、学業成績が平均以上で、地域社会の活動や課外活動に参加している学生は、交換に申請するよう奨励されています。ロータリアンの子供や障害のある学生を含め、これらの資格を満たしている学生のプログラムへの参加が求められています。

申請手続きは地区によって異なりますが、通常、学生は、地元のクラブを通じて申請書類を提出し、面接を受けます。

留学生のオリエンテーションではどのようなことが取り上げられるか

派遣地区と受入地区は、交換留学生が受入国に到着する前と後にオリエンテーションを開きます。オリエンテーションの目的は、プログラムにおいて学生に求められていることを説明し、学生に海外留学に備えてもらうことです。

交換留学生はロータリーに対しどのような義務があるか

学生には、課外活動やホストファミリーとの活動よりも、クラブ例会や地区の会合といったロータリーの行事を優先させるよう求められています。ロータリーの行事で交換留学の体験談を話すよう、留学生に依頼がくる場合もあります。また、ホストファミリーがロータリーの行事に招待される場合もあります。ホストファミリーと一緒に参加すれば、留学生も安心するでしょう。学生に参加が求められている行事について地元のロータリアンに尋ね、留学生がそれらの行事に優先して参加できるようにしてください。

留学生の受け入れに備える最善の方法は何か

交換が開始される前に、留学生の文化についてできるだけ学び、誤解を防ぐようにしてください。また、地元の食べ物、催し、観光地など、学生に紹介したいと思う文化についても考えておくとういでしょう。

このほか、学生の名前と連絡先がロータリアンから伝えられたらすぐに、学生とその両親に連絡を取ってください。その際に歓迎の意を伝え、自分の家族について紹介するとよいでしょう。また、持参すべき衣類や地元地域の事情について学生に伝えてあげるのも一案です。



留学生を日本にどのように迎え入れたらよいか

1番目のホストファミリーの一員とロータリアンが、空港に到着した学生を迎え入れます。

交換留学生のための歓迎会を開いているホストファミリーも多くあります。歓迎会は、学生がホストファミリーの友人や地域社会の人々と出会うよい機会となりますが、学生が到着してから少なくとも1週間が経ってから開くようにする必要があります。到着直後は、疲れていることが多く、時差ぼけから回復するのに数日間を必要とする可能性があるため、到着後すぐの歓迎会は学生にとって大きな負担となります。

ホストファミリーは、家庭のルールについて学生に話す準備をしておく必要があります。この話し合いをする際は、多くの地区で提供される「初日の質問事項」を活用するとよいでしょう。これには、「自分の服を自分で洗濯するべきか」「いつでも食べ物や飲み物をもらってよいか、または、まず誰かに聞くべきか」といった質問例が載っています。ホストファミリーによっては、ベッドメイキングや掃除などを家族全員で分担している場合もあれば、そうではない場合もあります。これらのルールについて、学生の到着後すぐに話し合うようにしましょう。

留学生が言葉をうまく話せない場合にはどうしたらよいか

学生のほとんどは、受入国の言語の基本的な語学力を身につけていますが、教科書で学んだ知識が日常的な会話に役立たないことが多くあります。学生とのコミュニケーションにおいて、誤解が生まれたり、不満を感じたりす

ることがあるかもしれないことを心得ておきましょう。慣用句は避け、ゆつくりと辛抱強く話すよう心がけてください。

家庭の規則や学校に関する事項、交通手段などの重要な情報を、学生が理解していることを確認してください。伝えた情報を学生に復唱してもらい、明確でないことがあればいつでも尋ねるように奨励しましょう。言葉の壁を乗り越えるために手伝う中で、留学生の上達や業績に誇りを感じ、末永く続く親密な絆を築くことができます。

留学生が日本に順応するのをどのように助けたらよいか

互いの文化について、学生とホストファミリーが誤解していることがしばしばあります。自国で無礼あるいは許されないと考えられている振る舞いが、留学生の祖国では普通と考えられていたり、またその反対である場合があります。従って、文化的な誤解について学生と明確にコミュニケーションを図ることが大切です。これらの異文化の問題についてオリエンテーションを提供している地区もあります。

留学生を客としてではなく、家族の一員として迎え入れるようにしてください。また、自分の子供が留学先でどのように扱われてほしいかということを考え、留学生に対しても同様に接するよう心がけてください。

学生に家族の一員であると感じてもらうために、「お母さん」、「お父さん」といった、くだけた呼び方で呼んでもらうことが奨励されていますが、互いにとって気兼ねのない呼び方を見つけるようにしてください。固い絆を築いていくことによって、ホストファミリーと学生両者の経験が豊かなものとなります。

留学生の病歴やニーズをどのように把握したらよいか

受入地区は、学生の申請書類とともに、最近の病歴が記された書類を保管しています。薬、アレルギー、食事の制限、めがねやコンタクトレンズなど、健康上の特別なニーズについてホストファミリーに伝えられます。

学生には、医療保険への加入が義務づけられています。保険の加入契約書とその他の医療関連書類のコピーを渡してもらい、学生の滞在中にこれらの書類を保管するようにしてください。ホストファミリーには、学生の医療費を負担する義務はありません。

健康上の理由、あるいは宗教や個人的な理由により、特別な食事制限が必要な留学生もいます。新しい食べ物を勧めるようにするべきですが、このような制限を常に尊重し、無理に食べさせることは避けてください。

受入地区と派遣地区の役割

派遣地区の役割は何か

学生の交換留学プログラムへの参加が認められた後、交換の成功に向けて派遣地区と受入地区が協力します。派遣地区のロータリアンは、交換に伴う以下のような準備を整えます。これには、以下のような準備が含まれます（ただし、これらに限られるわけではありません）。

- 学生の旅程を受入クラブあるいは受入地区に知らせる。
- 派遣学生とその両親のためのオリエンテーションを開催する。このオリエンテーションでは、資金面での義務、学生に対する規則、両親の訪問、保険、交換中に予期される事柄、帰国の準備などについて取り上げる。
- 学生が海外から帰国した後に報告会を開く。

受入地区の役割は何か

受入地区には、海外から来た学生に豊かな経験をしてもらうために努め、ホストファミリーを探し、適正審査を行い、またホストファミリーに支援を提供する責務があります。受入地区あるいは受入クラブには、このほかにも以下のような責務があります。

プログラムの管理運営

- ニーズや期待事項に関して、ホストファミリーと学生との話し合いを促す。
- 学生に毎月の小遣いを支給する（長期交換の場合のみ）。
- 学生のニーズが満たされていることを確かめるために、交換前と交換中に、ホストファミリー宅を訪問する。
- 地区外への旅行を承認する（国外への旅行に対し特別な制限がある学生もいるので注意する）。

学校

- 学生の指導カウンセラーや教師と定期的に連絡を取る。
- 地元の高校への入学、学費、その他の教育面での手配を行う（長期交換の場合）。

研修

- 受入学生のためのオリエンテーションを実施し、諸準備、資金面の事柄、規則、両親の訪問などについて取り上げる。
- 性的虐待とハラスメントから学生を保護するための方針と手続きを作成し、維持する。



活動

- クラブ例会への出席をはじめ、募金活動、奉仕プロジェクト、その他の多くのクラブ行事に参加するよう学生に奨励する。
- 学校や地域社会の活動に参加するよう学生に奨励する（留学前にロータリアンは、学生の関心について把握しておき、それと関連する活動を行っている団体に学生を紹介する）。
- 学生のために親睦行事や文化的催しを開く。

留学生への支援

- 到着した留学生を出迎える。
- 24時間対応の連絡先と地元に関する情報を提供する。
- 受入側カウンセラーを通じて、交換中に留学生ならびにホストファミリーとの連絡を維持する。
- 出席が義務づけられたクラブ・地区行事への交通手段を手配する。

青少年保護

どのような安全対策が取られているか

青少年交換プログラムに参加するためには、受入地区と派遣地区の両地区は、国際ロータリーより参加認定を受けなければなりません。この認定プログラムは、青少年保護に関する必須条件やプログラムの運営におけるベストプラクティスを確立することによって、学生の安全を確保するものです。全地区は、虐待とハラスメント防止、あるいは青少年保護に関する方針をそれぞれ設けているほか、次の「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を採用しています。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。

ホストファミリーへの申請方法

ホストファミリーとなるにはどのように応募したらよいか

通常、ホストファミリーは、プログラム規定と必須条件が記載され、署名の入った遵守声明と身元照会に関する同意を含む申込書を提出しなければなりません。交換留学プログラムは地区単位で運営されているため、申請手続きは地区によって異なります。詳細は、地元のロータリアンにお問い合わせください。



ROTARY INTERNATIONAL®

One Rotary Center

1560 Sherman Avenue

Evanston, IL 60201-3698 USA

www.rotary.org

749-JA—(709)